



推進協だより

(総会号)

2024年6月

発行；藤沢市瀬郷1008-1

光友会事業推進協議会 事務局

会長のご挨拶

ここ数年、コロナウイルスや自然災害、戦争など様々なことが起こっており、普通に生活できただけで幸せを感じるほど、世の中がたいへんな状況になっています。総会資料を見ると、法人や推進協、地域の繋がりなどが、この数年間で離れてしまった感があります。今年度は、推進協として「繋がり」を取り戻せるような取り組みをしていきたいと考えています。改めて、今年度から利用者の皆さん、ご家族、職員の皆さんに貢献していきたいと思えます。



光友会事業推進協議会

会長 野田 周吾

理事長のご挨拶

議案書第2号議案の冒頭に会の成り立ちが書いてあり昔を思い出しました。以前は70~80名が出席し、机が並べられず椅子だけを並べて開催するほど熱気溢れる推進協でありましたが、歴史が動くなかで今のような状態となりました。当初より法人会員としても個人会員としてもご協力いただいていた栢沼様が昨年夏に亡くられました。これからは若い世代の方達が、会長が話されたように知恵を出し合って盛り立てていただければと心から思います。本日は皆さんの熱心な議論のなかで今総会が成功裏に終わるよう祈ります。



社会福祉法人 光友会

理事長 五十嵐 紀子

＝今年も代議員総会が対面で開催されました＝



2024年5月18日に代議員総会が地域交流ホームかわうそで対面により開催されました。

出席者26名、委任状による出席者27名で、合計議決権総数53名。役員・代議員総数60名の3分の2である40名以上に達したので、会則第7条第5項に基づき、本代議員総会が適正に成立した旨、森調整役より報告されました。進行は議長：村井副会長、書記：北村職員、議事録署名人：立ヶ谷千晴様ということで進められました。以下に賛成多数で可決されました議案について、概略をご説明します。

議案概略説明：

第1号議案：2023年度事業報告及び収支決算報告・会計監査報告

【事業報告】

- ・ 寄付金を含めた会費等の納入状況は昨年度に対し37万円の減少となりましたが、3月31日に予算どおり70万円の積立を行うことができました。
- ・ 広報活動については、推進協年会費に関するアンケートを実施しました。この結果を基に2024年度計画により勉強会を行っていく予定です。
- ・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、276万円分ほどの黄色いレシートが投函され、その額の1%に相当する27,600円分のライフ湘南で使用する器具等をイオン藤沢店様から贈呈いただきました。金額は昨年度から8千円ほど増えました。

【決算報告】

- ・収入合計107万円のうち会費と寄付金を加えた額は86万4千円で、昨年度の会費収入に対し、37万円の減少となりました。会員数は法人会員を含め2名の増加となっていますので、今回の収入の減少は、年会費額の変更によるものとなっております。
- ・支出について、推進協運営のための経費については大きな増減はありませんでした。このため、昨年度は光友会に対し100万円の寄付を行いました。これに代わる積立金については70万円となりました。
- ・次期繰越金は対予算16万円強となりました。これは、推進協だよりなどの通常の運営に対する手持ち資金として確保するためのものです。

【会計監査】

- ・鈴木敦子会計監査役より「4月18日に会計監査を実施していただきました。結果、適切に処理されていることを確認していただきました。」との報告がありました。

第1号議案 採決 一賛成多数により原案のとおり可決

第2号議案：2024年度事業計画・収支予算

【事業計画】

2024年度の事業計画の重点施策について

- ・勉強会について、2023年度は上半期にテーマ等を検討し、下半期に実施する予定でしたがアンケートの遅れによって、2024年度からの実施となりました。まず、第1回目として光友会における地域生活支援拠点整備の取り組みということで当法人の業務執行理事、相談支援・地域医療部門統括の片山様をお願いしております。
- ・2回目以降につきましては企画運営会議等で検討して実施していく予定です。
- ・光友会事業支援積立金につきましては、2023年度と同額の積立を見込んでおります。
- ・企画運営会議につきましては、年4回を目途に従来と同様に対面での開催を予定しております。

【収支予算案】

- ・収入につきましては、会員の増加を図ることで25万円程度の収入増を見込みました。
- ・支出については、会員の増加による経常的な推進協運営のための経費の増加を見込んだことで「光友会事業支援積立金」の積み立てを前年度と同額の70万円としました。
- ・催し物開催費につきましては、再開を予定しております、勉強会の会場費等の費用となります。

第2号議案 採決 一賛成多数により原案のとおり可決

第3号議案：2024年度役員(案)について

- ・職員部会の部会長を中心に新年度の役員について調整した結果、3号議案のようになりました。
- ・役員交代につきましては、主なものは、副会長に新たに4月から光友会の部門統括に就任した二見部門統括を、また、副会長であった村井部門統括は調整役に。さらに調整役であった森は相談役にそれぞれ選任する案です。また、本日の総会の後の勉強会で講演を行っていただく片山部門統括も相談役に就任し、推進協の活動に対するアドバイス等を行っていくようにした案となっております。これまで相談役であった松井部門統括は、磯子活動ホームいぶき後援会の支援活動に専念するため、相談役を退任することとなりました。他には部会長と代議員の職員部会につきましては、一部人事異動による交代があります。なお、家族部会からの役員選任で、調整がついていない事業所がありますが、今後も継続して調整を行っていただく予定です。

第3号議案 採決 一賛成多数により原案のとおり可決

(以下、代議員総会添付書類)

- ・2023年度収支決算書及び会計監査報告
- ・2024年度収支予算書
- ・2024年度役員名簿
- ・2024年度光友会組織図

代議員総会終了後に勉強会を開催しました。

講師 片山 睦彦氏 (光友会事業推進協議会相談役)

社会福祉法人光友会業務執行理事 相談支援・地域医療部部門統括

講演内容

障害のある方々の「重度化・高齢化」や「親亡き後」を見据えた、地域生活支援拠点等の整備についてお話をいただきました。

今回の勉強会では、国が掲げる地域共生社会など諸概念の整理や各主体が担う役割について、障害福祉分野における地域生活支援拠点等整備の意義と光友会の取組について等を中心に大変分かりやすくお話をいただき、参加された方からも「非常に勉強になった」等の声が多く上がりました。

